

JP1外部サービス連携時のセキュリティ強化

JP1/AJS3※¹やJP1/IM※²から実行するプログラム・スクリプトから外部サービスを**安全**に利用したい。



外部サービス使用の課題

サービス利用時のアカウント情報を、どのように管理・運用するか？

- ✓ アカウント情報の固定運用やプログラム、設定ファイルへのべた書きは、セキュリティリスクを高める。
- ✓ 上記を避けるためのプログラム作りこみや、頻繁なパスワード変更運用が、開発・運用のコストネックになる。

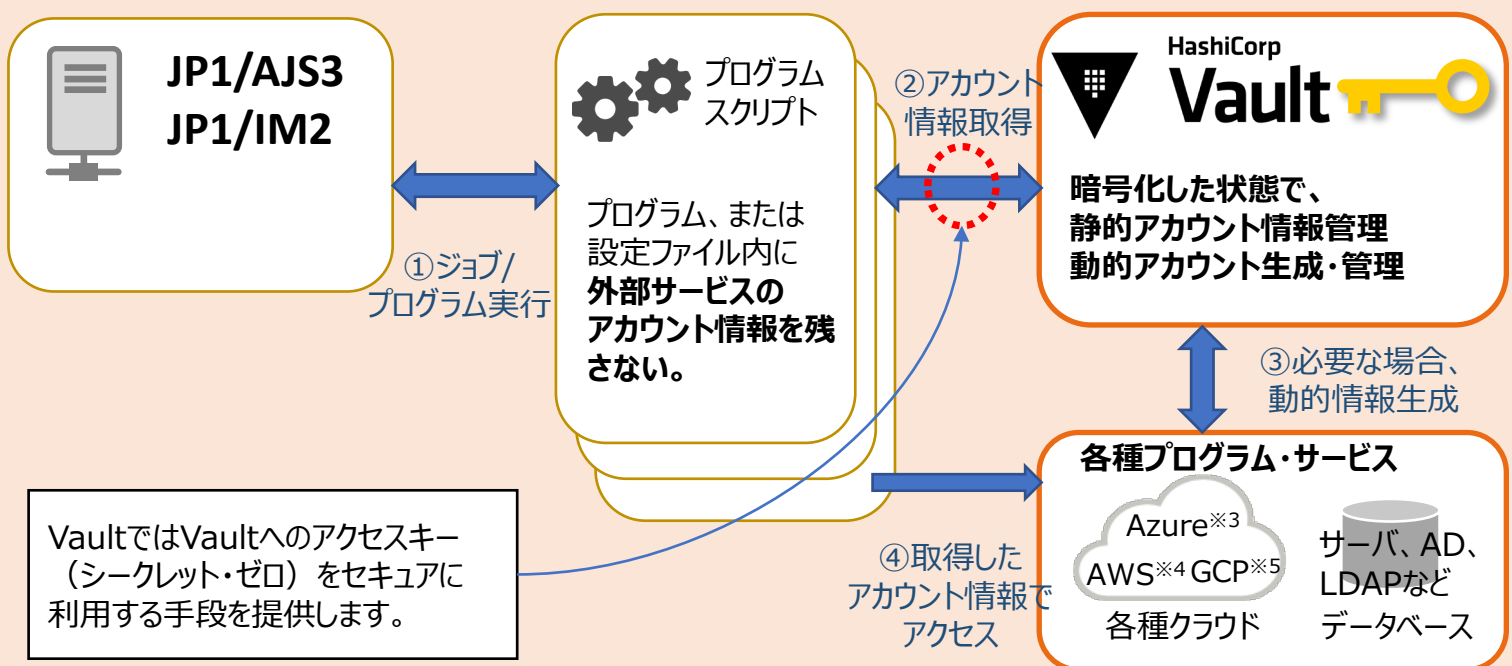
HashiCorp Vaultが課題を解決します！

HashiCorp Vault（以降Vault）ならアカウント情報を暗号化して一元管理。サービス利用時にVaultから情報を取得することで、プログラムや設定ファイルにアカウント情報を記載する必要はありません。

暗号化処理やパスワード管理をVaultに任せることで、開発・運用コストを低減できます。

HashiCorp VaultとJP1の連携イメージ

スクリプト・プログラム内には外部サービスのアカウント情報が存在しない



※1 JP1/Automatic. Job Management System 3

※2 JP1/Integrated Management 2

※3 Microsoft Azure

※4 Amazon Web Services

※5 Google Cloud Platform

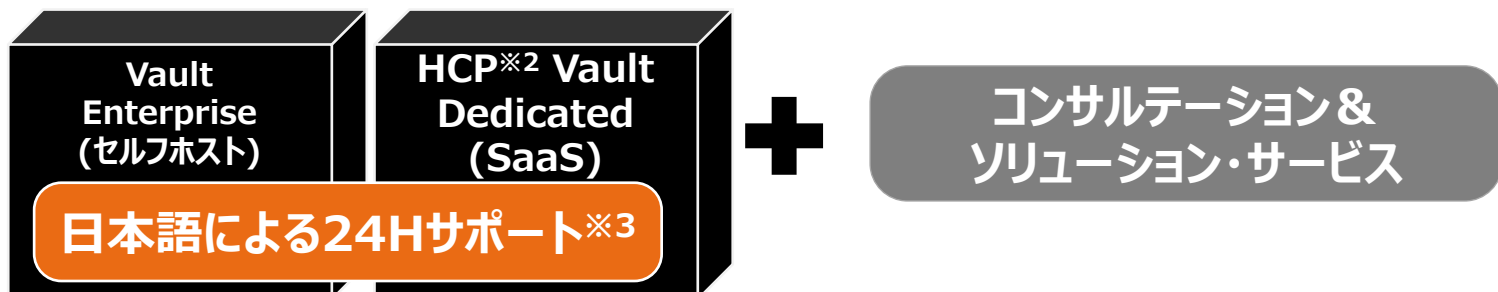
HashiCorp Vaultの主な機能

シークレット・マネジメント	シークレット(トークン、パスワード、証明書や暗号化キー)の中央集中的な生成、保存、提供を行います。
動的シークレット	一時作業用アカウントを安全に払い出す仕組みです。必要な時に必要な権限を付与したアカウントを払い出すことができます。
データプロテクション	データ暗号化のためのシンプルなAPIと暗号化のキー管理の機能を提供します。また、マスキング・フォーマットを維持した暗号処理※1も可能です。
サービスとしての暗号化	暗号化処理を標準化し、ガバナンスの効いた暗号化運用ができます。Vault一つで暗号化の運用を集中管理するため、複数ツールの管理や運用管理の漏れによるセキュリティリスクから解放されます。

※1 オプション製品「Advanced Data Protection」の購入が必要です。

HashiCorp Vaultの提供形態

HashiCorp Vaultの提供形態は以下になります。それに加え、コンサルティングや多様なソリューション・サービスとの連携をご提供します。



- ✓ 柔軟で安全なハイブリッド/マルチクラウド環境での運用管理
- ✓ 長年のSI実績に基づく運用コンサルティング、導入支援、トレーニング※4
- ✓ 当社の多様なソリューションやサービスと連携

※2 正式名称はHashiCorp Cloud Platformになります

※3 条件がございます。詳細はご相談ください。

※4 詳細はご相談ください。

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。

※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

※本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

※本カタログ中の情報は、リーフレット作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/hashicorp/>

